

## 北九州の知見を活かしてフィリピン・ダバオ市をクリーンにしま す!!

草の根技術協力事業<sup>1</sup>「ダバオ市における一般廃棄物処理システム構築プロジェクト」が開始となりました。このプロジェクトは北九州市が提案し、(公財)北九州市環境整備協会が中心となって(独)国際協力機構(以下、JICA)との協力のもとに実施するものです。

ごみの排出源での対策(発生抑制/減量/分別等)に取り組んだ草の根技術協力事業「ダバオ市における廃棄物管理向上支援プロジェクト(提案自治体:北九州市、実施団体:(公財)北九州市環境整備協会)」(2017年4月~2020年3月)実施中に、排出されたごみの収集・運搬、回収が適切に実施されていないことが一因で居住地域や海洋へのごみ流出等の問題が生じていることが明らかになりました。ダバオ市での廃棄物処理プロセス全体を適切に実施するため、排出源での対策に取り組んだ前回のプロジェクトに続き、今回のプロジェクトでは、この収集・運搬、回収の改善に取り組めます。4月26日には、ダバオ市と北九州市をオンラインでつないでのキックオフミーティングを行い、前回のプロジェクトの成果及び今回のプロジェクトで取り組む内容についてあらためて関係者間で確認を行いました。

JICAはグローバル・アジェンダ<sup>2</sup>18として「環境管理 -JICA クリーン・シティ・イニシアティブ(JCCI) -」をかがけており、JCCIのもと、国内外のパートナーとの協働、連携強化を図っています。今回のプロジェクトを通じて、北九州市、(公財)北九州市環境整備協会とともに、フィリピンにおける「きれいな街」の実現に協力し、持続可能な社会構築を目指します。



### キックオフミーティングの様子

<sup>1</sup> 草の根技術協力事業とは、国際協力の意志のある日本のNGO/CSO、地方自治体、大学、民間企業等の団体が、これまでの活動を通じて蓄積した知見や経験に基づいて提案する国際協力活動を、JICAが提案団体に業務委託してJICAと団体の協力関係のもとに実施する共同事業です。

参考 URL : <https://www.jica.go.jp/partner/kusanone/index.html>

<sup>2</sup> JICA グローバル・アジェンダとは、2030年のSDGs達成への貢献や、「人間の安全保障」「質の高い成長」「地球規模課題への取組」といった、日本が開発協力で目指す理念の実現のために、JICAが掲げる20の課題別事業戦略。課題の分析に基づいたグローバルな目標を掲げ、その達成に向けて開発協力事業の成果を上げるべく取り組みます。さらに、途上国はもちろん国内外のさまざまなパートナーとの対話と協働を促進し、開発協力の成果の拡大を目指します。



前回のプロジェクトで、回収したごみの分別を行う様子。



海岸地域の様子（2019年）

**【概要】**

- 事業名：草の根技術協力事業（地域活性化特別枠）「ダバオ市における一般廃棄物処理システム構築プロジェクト」
- 対象地域：フィリピン国ダバオ市
- 提案自治体：北九州市、実施団体：（公財）北九州市環境整備協会
- 相手国実施機関：ダバオ市環境天然資源局
- 事業期間：2022年4月-2025年4月

■ 問い合わせ先

JICA九州 市民参加協力課 遠藤  
TEL:093-671-8345  
E-mail: kictpp@jica.go.jp